



公明党 近藤 芳宏 12  
生きがいと介護予防の促進

**問** 高齢者を元気に過ごすために高齢者の介護支援活動への参加が注目されている。広まる介護支援ボランティア制度の早期導入についての考えは。

**答** 福祉部長 本制度は、高齢者の生きがいづくりや介護予防という観点からも有効であると認識している。また、他市の実施状況から、参考となる事例が多く見受けられて

いる。本市においても、平成27年度からの「川越市高齢者保健福祉計画・第6期川越市介護保険事業計画」の策定に向けた検討のなかで、川越市介護保険事業計画等推進委員会からのご意見をいただきながら、本市の実情に沿った制度の構築について検討して参りたい。

**問** 総合型スポーツクラブ  
**問** 介護支援ボランティア



公明党 小ノ澤 哲也 13  
命を守る危機管理の見直し

**問** 昨年12月に起きた調布市の食物アレルギーのある児童の事故死。川越市で起きないとは限らない。危機管理を見直して行くべき。教育長の決意は？

**答** 教育長 アレルギーのある児童生徒の理解を図るとともに、日頃から管理職をはじめ、組織をあげて緊急時に対応できるように努めることが大切であると考える。また、学

校の中で、食材に関心を持たせることは、アレルギーのある児童生徒ばかりでなく、様々な疾病がある児童生徒への配慮など、お互いを理解し合う良い機会となる。今後、危機管理の面と、食育の面からもアレルギーのある児童生徒等への理解を深められる取り組みを推進して参りたい。

**問** アレルギー疾患対策



豊田 高橋 剛 14  
いじめや虐待と自殺の関係

**問** 過去にいじめや虐待を受けた経験が「自殺の遠因」となる可能性があるとの指摘があるが、このことをどのように受けとめるか見解を伺う。

**答** 学校教育部長 因果関係については、具体的な状況を把握することが困難である。しかしながら、いじめや虐待は決して許されなものであり、絶対にあ

ってはならない。在学時にいじめや虐待を受けた心の傷は深いものである。

**問** 自殺予防対策



日本共産党 柿田 有一 15  
自然と共生する小畔川に

**問** 小畔川には多様な生物がおり自然が残る一方、市民要望をつけ整備もされている。市の計画ではどの様な位置づけなのか。

**答** 環境部長 川越市緑の基本計画等では、「ふれあいの水辺づくり」を重点計画として位置づけており、小畔川についても荒川や入間川とともに市民が自然とふれあう水辺として、保全・活用する

こととしている。また、河川は、多様な生き物の生息空間ともなっていることから、改修や整備等に当たっては、生態系に配慮したものとなるよう河川空間の維持・復元に努めることとしている。平成21年11月の調査では、吉田橋付近で19種の魚類が確認された。

**問** 「生活保護の見直し」  
**問** 小畔川の環境と利活用



日本共産党 今野 英子 16  
就学援助制度を身近に

**問** 「就学援助についてのお知らせ」にモデルケース、所得額の目安やイラストを活用し、制度を身近に感じられるようわかりやすくできないか伺う。

**答** 教育総務部長 生活保護に準ずる程度に困窮している世帯等表現がわかりづらいので、モデル世帯の表を載せたりしてはどうかとの指摘である。家族の年齢や借家の状況

等によって認定となる所得に変動があるので、いくつかのモデル世帯を載せるなどして、必要とする市民の皆様が申請しやすくなるよう、わかりやすく、イラストなども入られて、就学援助を身近に感じられるよう工夫し、改善してまいりたいと考えている。

**問** 学校教育の充実を  
**問** 高階運動広場と公園



日本共産党 川口 知子 17  
さらなる中小企業支援を

**問** 国内外への販路拡大、技術支援、産業集積等を行なう中小企業支援センターや小規模工業団地の要望を聞く。どのような支援が必要と考えるか。

**答** 六戸副市長 まず、販路対策の取組みを考えている。商工会議所が運営しているインターネット上のビジネスモールについて、市のホームページにリンクを張ることを考

えている。その他優れた工業製品を(仮称)小江戸川越ものづくりブランドと認定して、広く全国へPRする事業にも取り組んでいきたい。また、小規模工業用地の要望も既存の工業団地内に空きが出ている状況もあるので、市のホームページ上で情報を公開していきたい。

**問** 中小企業支援策  
**問** 山王塚古墳の公園化



日本共産党 本山 修一  
国保広域化問題について

18

**問** 国保総収入に占める国庫支出金は25年間で半減している。市は国保への国庫負担を増やすよう強く求めるべき。市長の見解を問う。

**答** 市長 医療保険制度においては、市町村国保は、社会保障としての機能を有しており、将来的には、国による一元的な運用が行われるべきと考える。そのような考え方によ

り、全国市長会をはじめ、各関係方面などからも国に対して国保財政の基盤強化を求めているところで、最終的な責任は国が負うべきであり、国民の健康を守るために、国保制度を堅持していくことが最も重要であると考えている。

**問** 国保広域化問題  
**答** 重要な地籍調査  
**問** 小仙波町二丁目市有地



民主党 山根 史子  
メンタルヘルスケア

19

**問** 不安障害を抱えた方に医療機関受診のための1歩として保健所相談を安心してご利用頂けるよう詳細情報を小冊子にすることについての見解。

**答** 保健医療部長 保健所の相談窓口については、広報川越や川越市民のしおりなどにより、市民への周知に努めてきたところである。一方、精神保健福祉相談を利用しても

らうため、相談方法、問題の解決方法などを、市民の方にわかりやすく説明することが大切であると考えている。そのため、今後、精神保健福祉相談について、わかりやすくご案内するリーフレットの作成について検討してまいりたい。  
**問** メンタルヘルスケア  
**問** 少人数学級の推進  
**問** 清掃センター自己搬入



民主党 山木 綾子  
支援者の押印は必要か！

20

**問** 災害時要援護者避難支援制度の個別計画に「複数名の支援者とその押印」が必要とあるが、支援者は善意のボランティアで、押印まで必要か！

**答** 総務部長 災害時要援護者避難支援制度は、大規模な災害時には、自助及び地域での共助が不可欠なことから、平時から具体的な支援方法を検討していくことを目的に、

国が策定したガイドラインに基づき、全国で取り組みが行われている制度である。押印については、支援者の方に責任を押し付けるのではなく、支援者となることの意味確認のために設けているものである。心理的負担とご意見もあるので、今後の課題と考えている。

**問** 生活保護  
**問** 川越市救急情報シート



無所属 川口 啓介  
中央値を意識し資料作成を

21

**問** これまで市が意識をしていなかった「中央値」を意識して統計資料を作成することで、より実態に即したデータができるようになるがどうか。

**答** 総務部長 中心値はデータをひとつの値に集約し、他のデータと比較するために利用されている。データの分布の状況によつては、平均値よりも、中央値を使用したほうが、

実態に近いものを表している場合がある。現在、国をはじめ、各公共団体で、中央値を統計資料などに掲載している事案は徐々に増えつつあるが、各公共団体との比較のためには、平均値・中央値を併記するようにし、よりよい統計資料を作成できるよう努めてまいりたい。  
**問** 後発医薬品の使用促進  
**問** 中心値の考え方

# 議会情報報



## 川越市公契約条例を引き続き継続審査

### 議会運営委員会

1月15日 政策検討会議座長報告を受け、種々協議した結果、視察の参加者については、議会運営委員会の委員を含め、各会派から参加することとした。また、旅費等の予算執行については了承した。なお、委員より、12月議会最終日、委員長報告に対する質疑において、3月議会での採決に向けて努力したい旨の委員長の答弁があったが、具体的にどのような努力をしていたのかとの質疑があり、委員長より、政策検討会議の結果を踏まえ、皆様のお話を聞きながら採決できるよう努

力していきたいとの発言があった。

2月1日 政策検討会議座長報告について、種々質疑を行った。

2月12日 正副座長案の取扱いについて種々協議した結果、各会派持ち帰り、次回の会議にて協議することと決定した。

また、公契約条例に係る執行部の来年度の予算が確保されているかについて、委員長が確認することと決定した。

2月18日 政策検討会議座長より、協議の経過について報告があった。

2月26日 座長報告について、種々協議した結果、関係団体との意見交